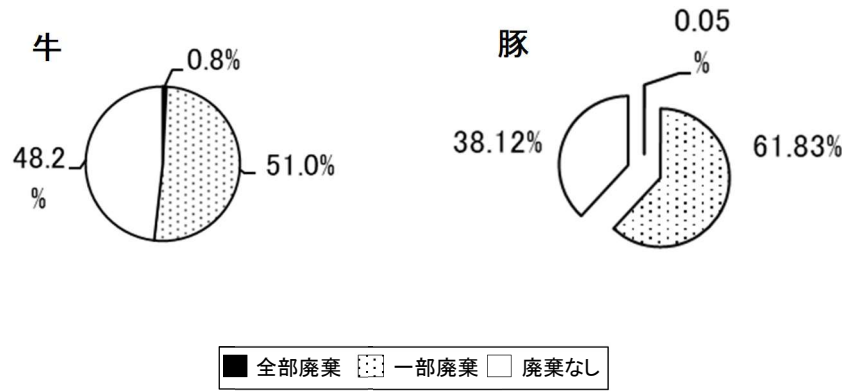


☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因（令和7年1月～令和7年3月）

畜種		牛		とく		豚		山羊	
と畜検査頭数		1,002		4		17,132		0	
廃棄の区分		全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄
実頭数		8	511	0	3	8	10,593	0	0
廃棄の原因	放線菌症	0	1	0	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	0	641	0	0
	ジストマ	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	0	0	0	0	0	0	0
	膿毒症	0	0	0	0	7	0	0	0
	敗血症	1	0	0	0	1	0	0	0
	尿毒症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄疸	0	0	0	0	0	0	0	0
	水腫	4	94	0	0	0	45	0	0
	腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0
	炎症汚染	0	321	0	3	0	8,120	0	0
	変性萎縮	0	218	0	1	0	3,289	0	0
	牛伝染性リンパ腫	3	0	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	67	0	0	0	522	0	0
計		8	701	0	4	8	12,617	0	0

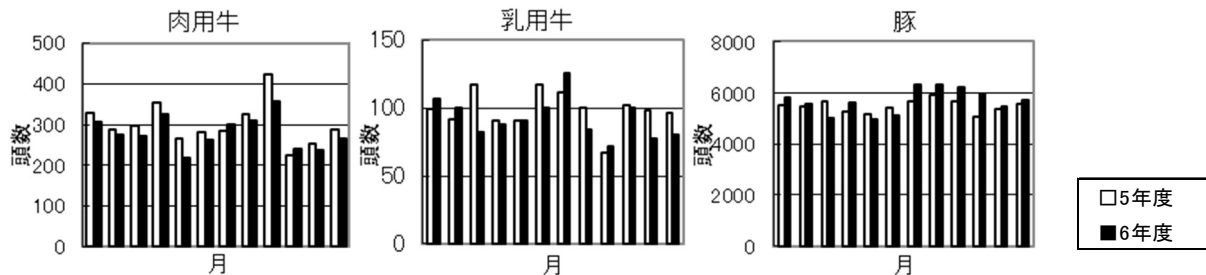
一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。



◎と畜検査頭数の推移（令和6年度）（とくを除く）

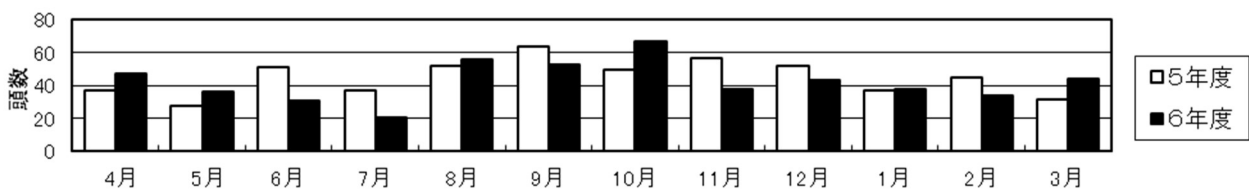
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度肉用牛	330	288	298	354	265	281	286	324	424	225	253	287	3,615
6年度肉用牛	307	276	273	325	219	263	301	311	358	241	238	266	3,378
前年比(%)	93.0	95.8	91.6	91.8	82.6	93.6	105.2	96.0	84.4	107.1	94.1	92.7	93.4
5年度乳用牛	99	92	117	91	91	117	111	100	67	102	98	96	1,181
6年度乳用牛	107	100	82	88	91	100	126	84	72	100	77	80	1,107
前年比(%)	108.1	108.7	70.1	96.7	100.0	85.5	113.5	84.0	107.5	98.0	78.6	83.3	93.7
5年度豚	5521	5448	5646	5252	5167	5414	5663	5927	5647	5032	5365	5570	65,652
6年度豚	5794	5551	5009	5588	4943	5084	6331	6296	6221	5979	5454	5699	67,949
前年比(%)	104.9	101.9	88.7	106.4	95.7	93.9	111.8	106.2	110.2	118.8	101.7	102.3	103.5

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数（令和6年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	37	28	51	37	52	64	50	57	52	37	45	32	650
6年度	47	36	31	21	56	53	67	38	43	38	34	44	508
前年比(%)	127.0	128.6	60.8	56.8	107.7	82.8	134.0	66.7	82.7	102.7	75.6	137.5	78.2



1月～3月の病獣畜116頭の内訳は、牛およびとくが86頭、豚が30頭であった。

◎時間別病獣畜と畜検査頭数(令和7年1月～令和7年3月)

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合(%)
		なし	あり	
7:00～12:00	116	116	0	100.0
時間外(上記以外)	0	0	0	0.0
長期休場等	0	0	0	0.0
合計	116	116	0	

※令和5年7月から病畜の受付時間は平日の7時から12時となった。

※令和5年7月から土曜日の病畜は基本的に受け付けない事となった。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数(令和7年1月～令和7年3月)

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	10	3	2	50	9	1	2	1	0	5	33	116
(うち時間外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭数割合(%)	8.6	2.6	1.7	43.1	7.8	0.9	1.7	0.9	0.0	4.3	28.4	

☆検査室等における精密検査（令和7年1月～令和7年3月）

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数	
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子			病理組織
牛及びとく	1	敗血症			7					1	0
	0	膿毒症								0	0
	0	尿毒症								0	0
	0	高度の黄疸								0	0
	4	高度の水腫	4							4	0
	3	牛伝染性リンパ腫					3		27	3	0
	0	腫瘍の多発								0	0
	8	計	4	0	7	0	3	0	27	8	0

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数	
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子			病理組織
豚	3	敗血症			23					1	2
	7	膿毒症	7							7	0
	0	尿毒症								0	0
	0	高度の黄疸								0	0
	0	高度の水腫								0	0
	0	豚丹毒								0	0
	0	白血病								0	0
	10	計	7	0	23	0	0	0	0	8	2

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査（令和7年1月～令和7年3月）

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2
	病畜	86	172	86	0	0	0	0	0	0	172
豚	保留	9	18	9	0	0	0	0	0	0	18
	病畜	30	60	30	0	0	0	0	0	0	60
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	6	12	6	0
豚	27	54	27	0
鶏	0	0	0	0

◎BSE（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和7年1月～令和7年3月におけるBSEスクリーニング検査数は0件であった。

（平成29年4月1日以降、原因不明の神経症状及び起立不能を呈する牛を対象に実施）

発行：岡山市食肉衛生検査所

TEL:086-272-8399

FAX:086-273-2019

E-mail:shokunikeiseikensasho@city.okayama.lg.jp

郵送停止、メール配信希望等、ご要望ございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。

1～3ページについて、ホームページでも公開しています。

<https://www.city.okayama.jp/0000022033.html>